給水装置工事の指針

第６章

工事申請

浜松市上下水道部

目次

６．１　　工事申請
６．１．１　【工事申込み及び手続】…… ６－１
６．１．２　【貯水槽方式から直結直圧方式・直結加圧方式に切替え、
または自家用給水から直結直圧方式・直結加圧方式に切替え】 …… ６－２
　　変更又は切替に伴う確認事項 …… ６－３

６．２　　設計書記載要領
６．２．１　【一般注意事項】…… ６－４
６．２．２　【作成要領】 …… ６－４
６．２．３　【図面作成】 …… ６－８

【各台帳記載例】…… ６－１４

６．３　　占用等の申請 …… ６－２５

第６章　工事申請

６．１　工事申請

６．１．１　【工事申込み及び手続】

1　「申込者」は、市に工事申込みをしなければならない。

2　工事を施行しようとするときは、あらかじめ市の承認を受けなければならない。

〈解説〉

工事申込みは、申込者が指定工事事業者を選定し、当該工事に係わる設計施工を委任する。指定工事事業者は、次に掲げる書類のうち、工事申込みに必要な書類を担当課・室へ提出し、審査を受けなければならない。

工事申込み時に必要な各関係書類を、次に掲げる。なお、様式については「様式集」を参照のこと。

（１）**給水装置工事申込書**〔施行規程第３号様式〕（様式集）

申込者名、指定工事事業者名及び必要な事項を記入したもの。

提出部数　１部

（２）**同意書**〔施行規程第４号様式〕（様式集）

利害関係人の同意を得て、利害関係人の署名又は記名押印したもの。

ア　他人の家屋又は所有地内に給水装置を設置しようとする場合

イ　他人の給水装置から分岐して給水装置を設置しようとする場合

提出部数　１部

（３）**代理人選定（変更）届**〔施行規程第１号様式〕（様式集）

給水装置の所有者又は申込者が市内に居住しないとき、又は市が必要と認めたときは、市内に居住する１人を代理人に選定する。

提出部数　１部

※申込者が、申請物件完成後にそこに住む場合は、必要としない。

（４）**管理人選定届**〔施行規程第２号様式〕（様式集）

共同で給水装置を使用する（代用管含む）とき、共有者の中から１名を管理人として選定する。

提出部数　１部

（５）**給水装置所有者変更届**〔施行規程第15号様式〕（様式集）

給水装置（予定線・私設代用管含む）の所有者を変更する場合

提出部数　１部

（６）**給水装置使用中止・廃止届**〔施行規程第11号様式〕（様式集）

給水装置を廃止する場合

提出部数　１部

（７）**貯水槽・自家用給水設備確認報告書**〔第４号様式〕**及び誓約書**〔第５号様式〕（様式集）

6．1．2による。

提出部数　各１部

（８）**その他誓約書等**（様式集）

市が必要と認めた場合に提出

提出部数　各１部

（９）**設計書**（給水台帳）

設計した給水台帳

提出部数　１部

（１０）**届出書**（様式集）

民法第２１３条の２及び第２１３条の３を適用した場合に提出

提出部数　１部

６．１．２　【貯水槽方式から直結直圧方式・直結加圧方式に切替え、または自家用給水から直結直圧方式・直結加圧方式に切替え】

（１）　工事申込みをする場合は、事前確認を必要とする。
（２）　工事申込み時に、確認した報告書を提出すること。
（３）　指定工事事業者は、申込者に対し確認した事項の報告をする等の対応をすること。

〈解説〉

（１）　直結直圧方式又は中高層直結直圧方式若しくは中高層直結加圧方式に該当する手続きを行う。

（２）　貯水槽方式から直結方式に変更する工事又は自家用給水方式から水道に切替える工事の申込みをする場合には、（表６－１）の確認事項に基づき該当する事項を確認すること。

なお、既設配管の耐圧試験テスト圧は 1.75 メガパスカルを原則とするが、市が認めた場合は、当該配水管最大静水圧の 1.5 倍に替えることができる。

（３）　工事申込み時に、「貯水槽・自家用給水設備確認報告書」〔第４号様式〕（様式集）と「水圧テスト工事写真」及び「誓約書」（貯水槽・自家用給水設備の切替）〔第５号様式〕（様式集）を提出すること。

（４）　工事完了後は、「水質試験結果」と「完成書類一式」を提出する。

（５）　指定工事事業者は、該当する確認事項及び報告書に基づき、給水装置の維持管理に関する留意事項及び誓約書の内容を申込者に周知及び指導をすること。

表６－１　変更又は切替に伴う確認事項

更正工事の施行履歴のない場合	
確認事項	確認内容
既設配管材質確認	・構造・材質基準に適合しているか図面及び現場で調査 ・構造・材質基準に適合していない場合は、担当課・室と協議
既設配管耐圧試験	・試験水圧 1.75MPa、負荷時間 1 分間 ・ただし、試験水圧については、担当課・室との協議により当該配水管の最大静水圧の 1.5 倍に替えることができる。
水質試験	・試験機関：法第 20 条第 3 項に規定する者 ・採水方法：水道水を 5L／分を 5 分間流し、15 分間滞留させた後、採取 ・試験項目：味・臭気・色度・濁度（必須）：鉄・pH　（井戸から切替は必須）

更生工事の施行履歴があり、かつ、使用塗料、工法及び施工状況が明らかな場合	
確認事項	確認内容
既設配管材質確認	・塗料の浸出性能基準適合証明書又は第三者認証品の場合は認証登録証写し ・更正工事の施工計画書（工法、塗料、工程表等）及び施工報告書（写真添付）
既設配管耐圧試験	・試験水圧 1.75Mpa、負荷時間 1 分間 ・ただし、試験水圧については、担当課・室との協議により当該配水管の最大静水圧の 1.5 倍に替えることができる。
浸出性能確認 水質試験	・試験機関：公的検査機関 ・採水方法：水道水を 5L／分を 5 分間流し、15 分間滞留させた後、採取したもの及び管内の水をすべて入れ替えた水を対照水として採取 ・試験項目：味・臭気・色度・濁度・塗料から浸出する可能性のある項目（必須）

更正工事の施行履歴があり、かつ、使用塗料、工法及び施工状況が確認できない場合	
確認事項	確認内容
既設配管耐圧試験	・試験水圧 1.75Mpa、負荷時間 1 分間 ・ただし、試験水圧については、担当課・室との協議により当該配水管の最大静水圧の 1.5 倍に替えることができる。
構造・材質基準に基づく浸出性能基準	・試験機関：公的検査機関 ・塗料試験：既設給水管の一部をサンプリング ・採水方法（サンプリングが困難な場合） ：水道水を 16 時間滞留させた後、採取したもの及び管内の水をすべて入れ替えた水を対照水として採取 ・試験項目：味・臭気・色度・濁度・浸出等に関する基準省令の基準別表第 1 の項目すべて（必須）

６．２　設計書記載要領

６．２．１　【一般注意事項】

給水装置の設計書（給水台帳）は、工事施行の際の基礎であるとともに、給水装置の適切な維持管理のために必要な資料であるため、明確かつ容易に理解できるものであること。

〈解説〉

設計書（給水台帳）は、給水管の布設状況等を図示するものであり、維持管理の技術的な基礎資料として使用するものである。

したがって、誰にでも容易に理解し得るよう表現することが必要であり、以下の項目を熟知して作成すること。

（１）　正確、かつ、簡単明瞭であること。

（２）　直・曲線は、製図機器等を用い、フリーハンドでは記入しないこと。

（３）　新設は赤色、既設は黒色で記入する。

（４）　使用 CAD により異なるため､明記は台帳ファイリングシステムへの登録や出力(印刷）時に支障が出ないように縮尺及びフォント等に注意すること。

文字サイズについては、Microsoft のフォントサイズ９ポイント程度を基準に全体のバランス等を考慮して設定する。

６．２．２　【作成要領】

（１）設計書（給水台帳）は、A4 サイズ、縦使用とし、上面を記事欄、下面を図面とする。なお､図面内容が大量､多岐にわたる場合は､別に A4 サイズ縦１面を活用し作図すること。（複数枚可）

（２）必要事項については正確に記入すること。

〈解説〉

記事欄への記入については、次のとおりとする。

（項目（番号）についての作成要領図）

種　　別	形　状	数　量	規　　格

① 材料等記入欄

・材料記入欄内で（道路部分）と（宅内部分）とを分ける。
　ここでいう道路部分とは、分岐から宅内の第一バルブまでをいい、
　宅内部分とは、第一バルブ接続から給水用具までをいう。

・使用する材料を記載する。

・種別欄は黒色、形状・数量・規格欄は赤色で記載する。

（例）

種別	形状	数量	規格
（道路）			
サドル付分水栓	100×20	1	JWWA　B117
スリーブ	20	1	○○自社検査品
PE メーター用	20	2	JWWA　B116
PE エルボ	20	2	JWWA　B116
PE 管	20	6.0	JIS　K6762
メーター止水栓	20×13	1	○○○
メーター筐（青）	P20L（青）	1	○○（浜松市型）
（宅内）			
ガイドナット（逆止弁付）	13	1	○○○
HIVP	16	30.0	JIS　K6742
HIVP 継手	16	1 式	JIS　K6742
ポリブテン管	13	20.0	JIS　K6762
ポリブテン管継手	13	1 式	
逆止弁	13	1	JWWA　B129
ボールタップ	13	2	JIS　B　2061
水せん類	13	4	JIS　B　2061
ヘッダー	5P	1	
遊離残留塩素測定		0.3ppm	○○年○月○日測定
道路復旧	舗装復旧の有無	有　・　無	下水同調
メーター	13	1	

（1）種別：使用材料の名称を記入

（2）形状：使用材料の口径等を記入

（3）数量：使用数量を記入（民地内の継手類は「一式」と記入）

（4）規格：JIS・JWWA の番号を記載。日本水道協会品質認証センターにて登録されている番号は、「会社名　○認 E－23」のように記入
その他の JIS・JWWA の規格外品で自社検査品は、「会社名　自社検査品」と記入

（5）メーター：新規は、赤色で口径と個数を記入
既設は、黒色で口径と個数を記入
増径は、黒色で既設口径を記入して（矢印）→を書いて赤色で増径した口径を記入・・・（例）13　→　20
減径は、黒色で減径した口径を記入

② **遊離残留塩素測定**・・・配水管分岐工事の時は、遊離残留塩素測定値及び分岐施工日を記入

③ **道路復旧**・・・道路復旧の有無を記入（同調工事は、同調工事名を規格欄に記載）

④ **新設・その他**・・・新設・その他の該当するほうを丸で囲む。
新設とは、新規加入金が発生した場合
その他とは、増径、減径、既設メーター口径のまま、予定線工事等

⑤ **給水受付番号**・・・申請後に交付する給水受付番号（８桁）を、完成時に記入

⑥ **基本コード**・・・既設は黒で記入
新設については、申請後に交付する番号を完成時に赤で記入。ただし、集合住宅等コードが多く表示困難な場合は、下面に表示しコード欄は「下図表示」又は「図面内表示」と記入

⑦ **業者コード**・・・指定番号を記入

⑧ **指定業者**・・・指定工事事業者名を記入

⑨ **主任技術者**・・・主任技術者氏名を記入

⑩ **設置場所**・・・設置場所（住所表記）を記入

⑪ **給水装置申込者**・・・申込者の住所、氏名を記入

⑫ **使用者氏名又は建物名称**・・・使用者氏名を記入、共同住宅等の場合は建物名称を記入し、「使用者氏名」もしくは、「建物名称」を丸で囲む。

⑬ **代理人・管理人**・・・代理人又は管理人を選定した場合、該当するほうを丸で囲み、住所、氏名を記入

⑭ **申込受付**・・・完成時に申込年月日を記入

⑮ **着手**・・・完成時に工事着手年月日を記入

⑯ **完成**・・・完成時に工事完成年月日を記入

⑰　**検査**・・・空欄（市が記入）

６．２．３　【図面作成】

市が指定する記号により、工事を施行する建築物の平面（間取り）、給水用具の取付位置、配水管、給水管の布設状況、設置場所の案内図、給水装置の立面図（管種、口径、延長寸法、使用する材料器具）、道路種別、幅員等、一目で判読できるよう図示しなければならない。

〈解説〉

図面は、次に掲げる事項に留意して正確かつ簡単明瞭に作成すること。

（１）**標準表示線色**

平面図及び立面図に使用する表示線色は、次に掲げるところによる。

給水装置	適用範囲	線種	表示色
新設	配水管分岐から敷地内第一バルブまで	実線	赤色
	敷地内第一バルブ接続から水栓まで	点線	
既設	配水管分岐から敷地内第一バルブまで	実線	黒色
	敷地内第一バルブ接続から水栓まで	点線	
井戸水等の他の管及び器具		実線	青色

（２）**方位**

ア　平面図の方位は、原則として上を北とする。なお、方位表示は必ず記入すること。

イ　案内図の方位は、必ず上を北とすること。

（３）**平面図**

【共通事項】

・方位表示

・給水装置を設ける敷地の境界線

・道路の種別（公道及び私道の区分、道路幅員、側溝の有無）

・オフセット（第一バルブと隣地境界線の距離）

【配水管又は私設代用管から分岐工事有り】

・配水管の管種、口径、位置、深さ

・給水管の管種、口径、位置

・道路路線名

【配水管分岐工事なし】

・配水管と給水管の記載。管種、口径は、竣工図や給水台帳等で確認できた範囲内で記入する。確認ができない場合は「不明」と記入する。

【集合住宅等】

・各戸の配管の設計が同じ場合、１部屋は全て記入し、その他の部屋はメーターまで記載し、メーター二次側は省略できる。

・配管の記載を省略した部屋は、住戸同士の仕切り壁と部屋番号を記載する。

【市水以外の水管について】

・クロスコネクション防止のため、市水以外の水管（井戸・農業用水・工業用水等）を併用する場合、直結直圧・貯水槽併用方式の場合は、貯水槽以降の水管を可能な範囲で記載する。

（４）**案内図**

ア　申請地周辺の状況、道路状況、公設物等の主要な目標物を記入する。

イ　設計書（給水台帳）に地図をコピーすることは可とするが、のり付けは禁止とする。

（５）**立面図**

ア　立面図は平面で表現することができない配管状況を立体的に表現するもので、管の種類、口径を記入すること。

イ　口径及び延長寸法について、長さはメートル（m）、管及び弁栓類の口径はミリメートル（㎜）の呼び径で表すこと。

ウ　縦短、横長のひし形になるように記入すること。

エ　平面図における縦の線は、左より右上がり（30 度）の線で記入し、横の線は、左より右下がり（30 度）の線で記入すること。（図 6-1 作成要領参照）

（６）**私設代用管がある給水台帳**

※「私設代用管のみ」と「私設代用管の分岐から宅内」に台帳を分けて作成する。

※記載については、６．２　設計書記載要領を参照

※平面図作成にあたっての注意事項

ア　管末は、３点オフセットを記入する。

イ　使用材料は、第 7 章　7.8 私設代用管の施工について 7.8.2【施工】を参照

（７）給水台帳　記号

器具名	記号	色と線
止　水　栓		新設…赤色実線 既設…黒色実線
量　水　器		同　上
ストップバルブ		同　上
逆　止　弁		同　上
仕　切　弁		同　上
水　栓		同　上
ボールタップ		同　上
フラッシュバルブ		同　上
湯水混合栓		同　上
ヘッダー		同　上
減圧式逆流防止器		同　上
ブースターポンプ	ＢＰ	同　上
メーターユニット		同　上
浄・活水器		同　上
吸排気弁	Ａ	同　上
エア抜き弁	Ａ	同　上
スプリンクラーヘッド		同　上
ポンプ	Ｐ	同　上
井戸	井	同　上
定水位弁		同　上
減圧弁		同　上
口径変更		同　上
撤去しない管		赤色斜線で消す

ボイラーの機種については、下記の記号により記入すること。

機種	ガス、電気、石油
種別	瞬間、貯留

記入例　ガス(瞬)　ガス(貯)　電気(貯)　石油(瞬)　石油(貯)

（８） 配水管　口径記号

口　径	記　号
φ５０㎜以下	－－－－－－－－－
φ７５㎜	――――――
φ１００㎜	――― ― ―――
φ１２５㎜	――― ―――
φ１５０㎜	――― ┼ ―――
φ２００㎜	――― －－ ―――
φ２５０㎜	――― ┼┼ ―――
φ３００㎜	――― --- ―――
φ３５０㎜	――― ┼┼┼ ―――
φ４００㎜	―┤― ―├―

口　径	記　号
φ４５０㎜	―┤┼ ┼├―
φ５００㎜	――― 5 ―――
φ６００㎜	――― 6 ―――
φ７００㎜	――― 7 ―――
φ８００㎜	――― 8 ―――
φ９００㎜	――― 9 ―――
φ１０００㎜	――― 10 ―――
φ１１００㎜	――― 11 ―――
φ１２００㎜	――― 12 ―――
φ１３５０㎜	――― 13.5 ―――

（９） 配水管　弁・栓類記号

名　称	記　号
双口消火栓	―●―
単口消火栓	―●―
バタフライ弁	―⧗―
仕切弁	―⋈―
仕切弁（ソフトシール）	―⋈―
ストップバルブ	―⊗―
泥吐弁	―└⋈―

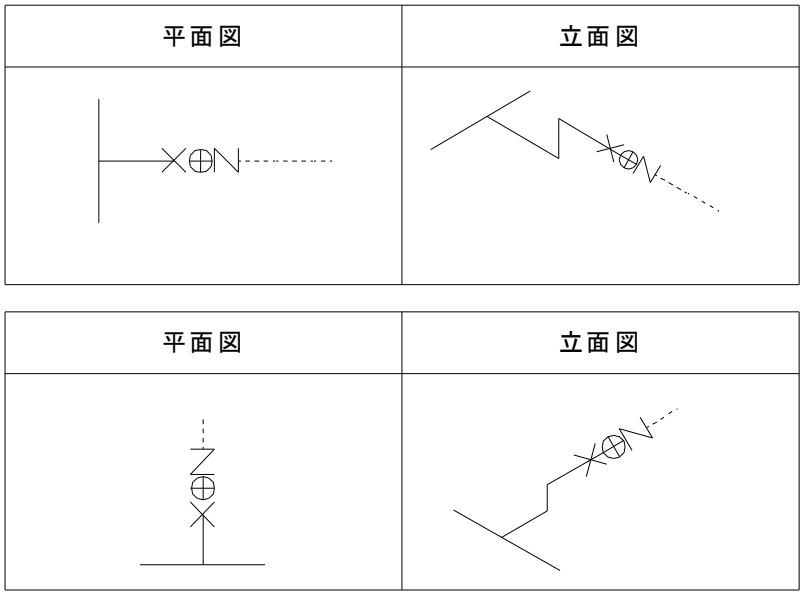
名　称	記　号
双口空気弁	―┤○ ○├―
減圧弁	―▷―
逆止弁	―┤N├―
簡易仕切弁	―⊠―
空気弁付消火栓	―●―
単口空気弁	―┤○├―

（１０）一般管種表記

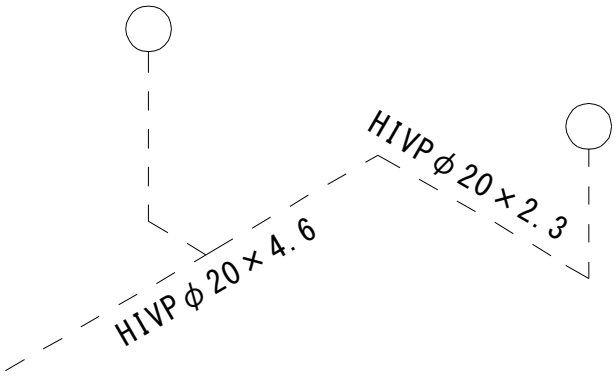
管種	表記
ダクタイル鋳鉄管	ＤＩＰ
硬質ポリ塩化ビニル管	ＶＰ
耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	ＨＩＶＰ
ポリエチレン管	ＰＥ
鋼　管	ＧＰ
硬質塩化ビニルライニング鋼管	ＶＬＰ
ポリエチレン紛体ライニング鋼管	ＰＬＰ
配水ポリ	ＨＰＥ
ペック管	ＰＥＣ

図６－１　作成要領

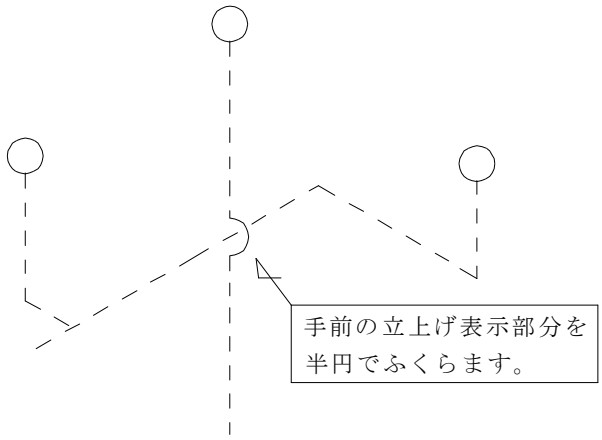
ア　平面図と立面図



イ　立面図

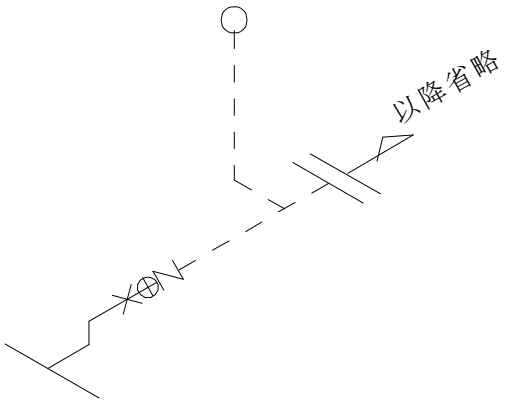


ウ　管の交差

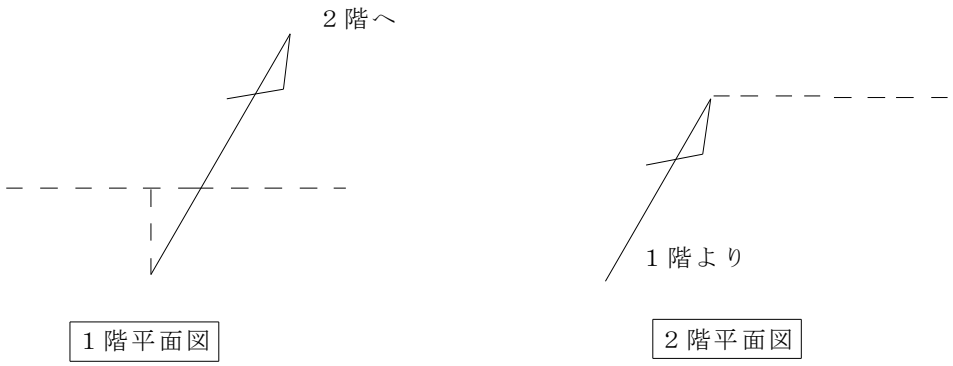


エ　立面図省略

・２階建てまでの一般住宅で、かつ、メーター１個の場合は省略できる。ただし、市が必要と判断した場合は省略できない。



オ　平面図２階立上り



【各台帳記載例】

① 開発行為宅地分譲で配水部分の台帳

② 開発行為宅地分譲の予定線のみ台帳

③ 私設代用管のみ台帳

④ 私設代用管の分岐から宅内

⑤ 貯水槽方式

⑥ 集合住宅　直圧

⑦ 配水管分岐工事有り　一般住宅

⑧ 配水管分岐工事なし　一般住宅

※案内図及び立面図は以下のとおり台帳に記載は必要だが、記載例については省略させていただく。

・案内図について・・・６－９ページ（４）のとおりとする。

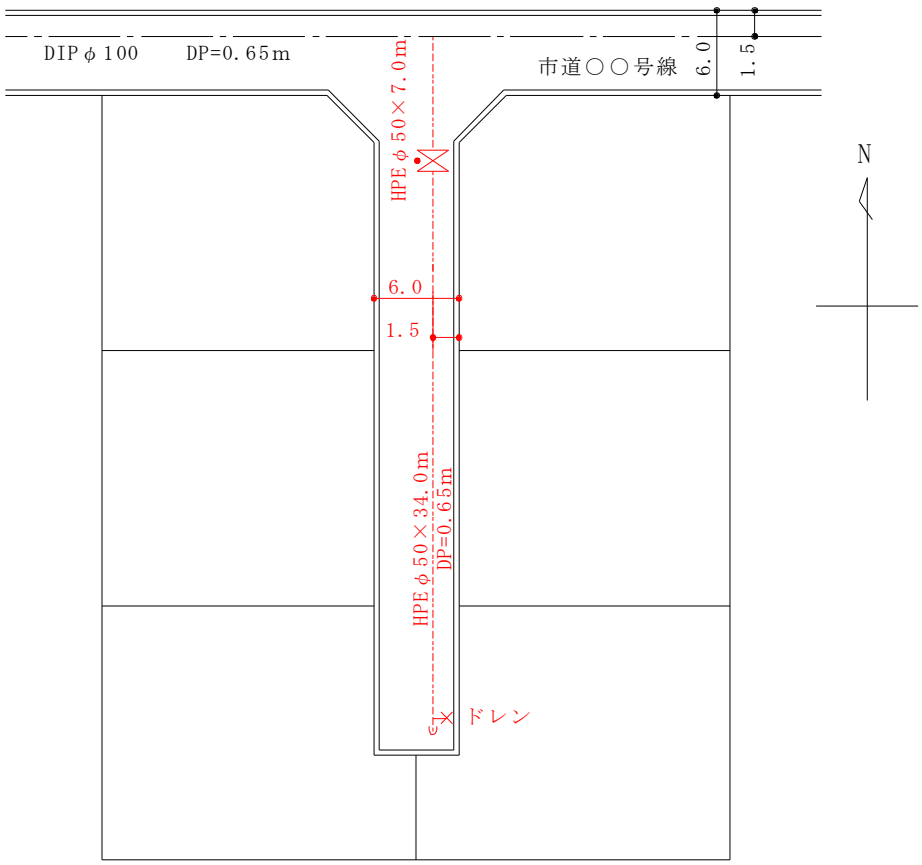
・立面図について・・・６－９パージ（５）のとおりとする。

① 開発行為宅地分譲で配水部分の台帳

種　　別	形　状	数　量	規　　格
(配水管)			
割Ｔ字管	100×50	1	○○○○
スリーブ	50	1	○○○○
HPEメーター用	50	1	○○○○
HPE	50	41.0	○○○○
HPEソケット	50	1式	○○○○
HPEキャップ	50	1	○○○○
ソフトシール弁	50	1	○○○○
仕切弁きょう	レジン	1	○○○○
調整リング	50K	1	○○○○
仕切弁ブロック	300CA	1	○○○○
底板ブロック	40S	1	○○○○
HPE用浸透防止スリーブ	50	1巻	○○○○
埋設シート(アルタン)	W＝150	1巻	○○○○
(ドレン)			
HPE用サドル分水栓	50×20	1	○○○○
PEメーター用	20	2	○○○○
PEエルボ	20	2	○○○○
一文字止水栓	20	1	○○○○
ガイドナット（逆止弁付）	20	1	○○○○
ＶＰ	20	0.5	○○○○
TSエルボ	20	2	○○○○
止水栓きょう	伸縮（白）	1	○○○○
遊離残留塩素測定		○○ｐｐｍ	令和○○年○○月○○日測定
道 路 復 旧	舗装復旧の有無	有 (無)	
メーター			

給水台帳（ 新設 ・ その他 ）				
受付番号	８桁	設置場所		浜松市○区○○町□□□
基本コード	―	給水装置申込者	住所	□□□□□□
業者コード	○○○		氏名	△△△△△
指定業者	○○○○	使用者氏名又は建物名称		
主任技術者	○○○○	代理人・管理人	住所	
			氏名	

加入金納入済印				
	申込受付	令和	年	月　日
	着　手	令和	年	月　日
	完　成	令和	年	月　日
	検　査	令和	年	月　日
	浜松市上下水道部			



② 開発行為宅地分譲の予定線のみ台帳

種　別	形　状	数　量	規　格
（予定線）			
HPEサドル分水栓	50×20	6	○○○
PEメーター用	20	12	○○○
PEエルボ	20	12	○○○
PE管	20	26	○○○
メーター止水栓	20×13	6	○○○
メーター筐	P20L（青）	6	○○○
遊離残留塩素測定			
道 路 復 旧	舗装復旧の有無	有・無	
メーター			

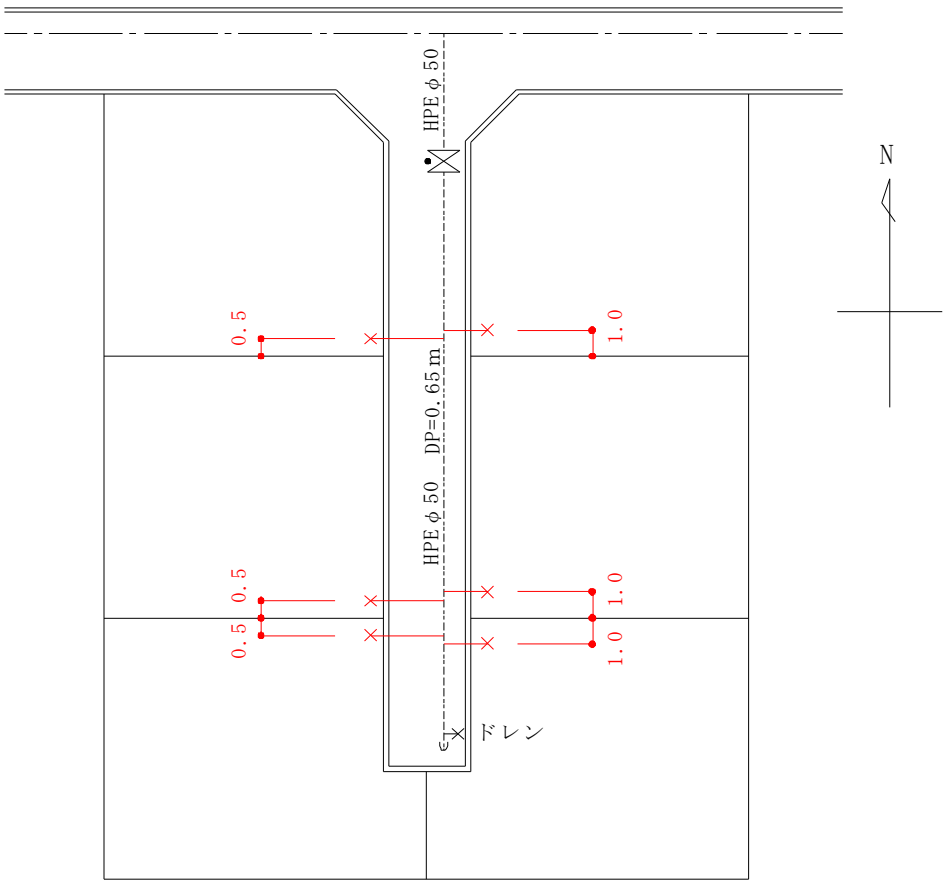
給水台帳（ 新設 ・ その他 ）

受付番号	８桁	設置場所		浜松市○区○○町□□□
基本コード	—	給水装置申込者	住所	□□□□□□
業者コード	○○○		氏名	△△△△△
指定業者	○○○○	使用者氏名又は建物名称		
主任技術者	○○○○	代理人・管理人	住所	
			氏名	

加入金納入済印

申込受付	令和　年　月　日
着　手	令和　年　月　日
完　成	令和　年　月　日
検　査	令和　年　月　日

浜松市上下水道部



③ 私設代用管のみ台帳

種　別	形　状	数　量	規　格
（道路）			
サドル付分水栓	100×25	1	○○○
スリーブ	25	1	○○○
ＰＥメーター用	25	3	○○○
ＰＥエルボ	25	2	○○○
ＰＥ	25	19	○○○
一文字止水栓	25	1	○○○
止水栓きょう	伸縮（青）	1	○○○
PEエンドキャップ	25	1	○○○
遊離残留塩素測定		0.25ppm	○年○月○日測定
道 路 復 旧	舗装復旧の有無	有・無	
メーター			

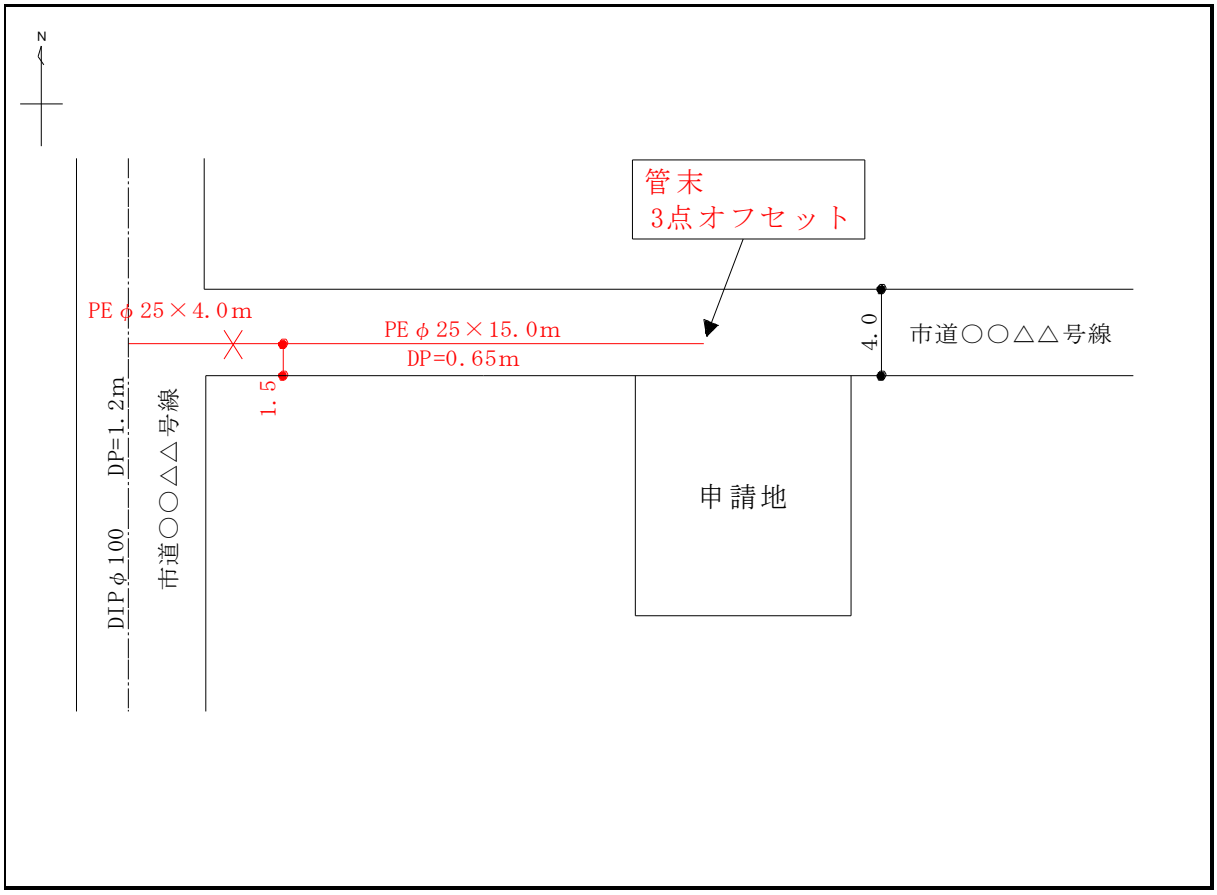
給水台帳（ 新設 ・ その他 ）

受付番号	８桁	設置場所		浜松市○区○○町□□□
基本コード	—	給水装置申込者	住所	□□□□□□
業者コード	○○○		氏名	△△△△△
指定業者	○○○○	使用者氏名又は建物名称		
主任技術者	○○○○	代理人・管理人	住所	
			氏名	

加入金納入済印

申込受付	令和　年　月　日
着　手	令和　年　月　日
完　成	令和　年　月　日
検　査	令和　年　月　日

浜松市上下水道部



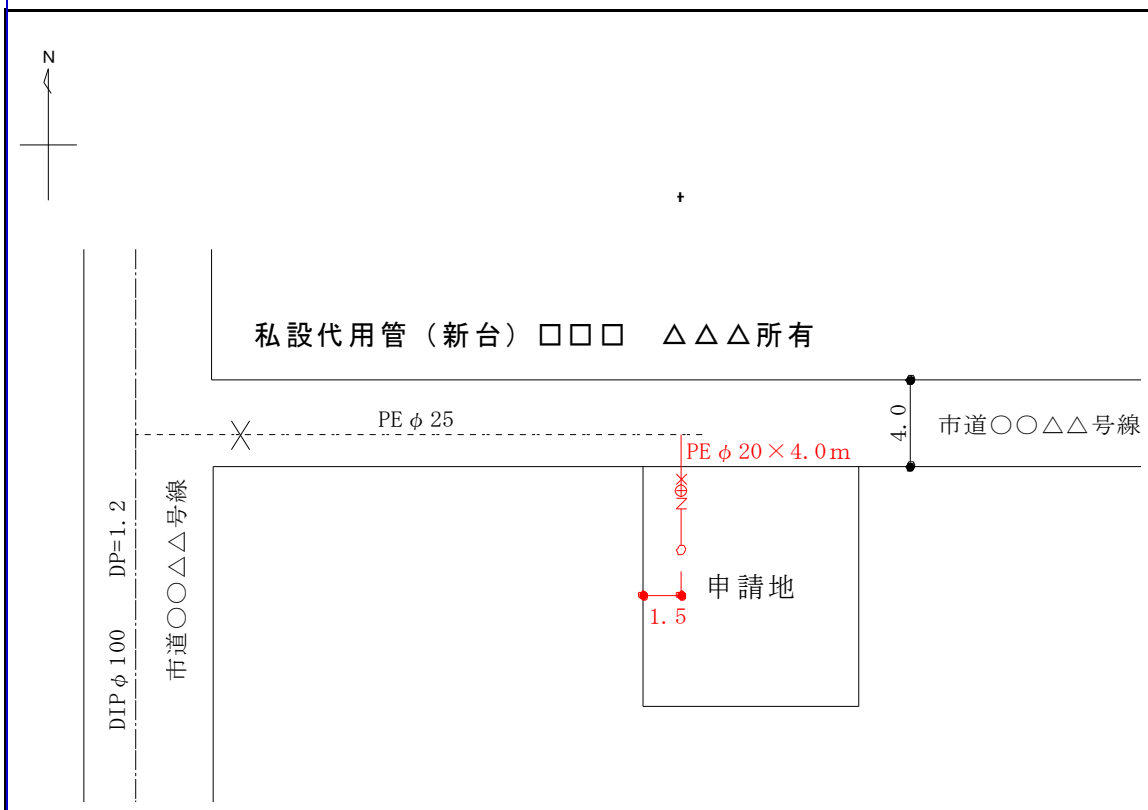
④ 私設代用管の分岐から宅内

種　　別	形　状	数　量	規　　格
(道路)			
ＰＥチーズ	25×20	1	○○○
ＰＥ	20	4.0	○○○
ＰＥメーター用	20	1	○○○
ＰＥエルボ	20	2	○○○
メーター止水栓	20×13	1	○○○
メーター筐	P20L（青）	1	○○○
(宅内)			
ガイドナット（逆止弁付）	13	1	○○○
VP	16	2.5	○○○
ＶＰ継手類		1式	○○○
水せん類	13	1	○○○
水せん柱	13	1	○○○
遊離残留塩素測定		0.25ppm	令和○年○月○日　分岐
道 路 復 旧	舗装復旧の有無	(有)・無	
メーター	13	1	

給水台帳（ 新設 ・ その他 ）

受付番号	８桁	設置場所		浜松市○区○○町□□□
基本コード	○○○○	給水装置申込者	住所	□□□□□□
業者コード	○○○		氏名	△△△△△
指定業者	○○○○	使用者氏名又は建物名称		
主任技術者	○○○○	代理人・管理人	住所	
			氏名	

加入金納入済印				
	申込受付	令和	年	月　日
	着　手	令和	年	月　日
	完　成	令和	年	月　日
	検　査	令和	年	月　日
	浜松市上下水道部			



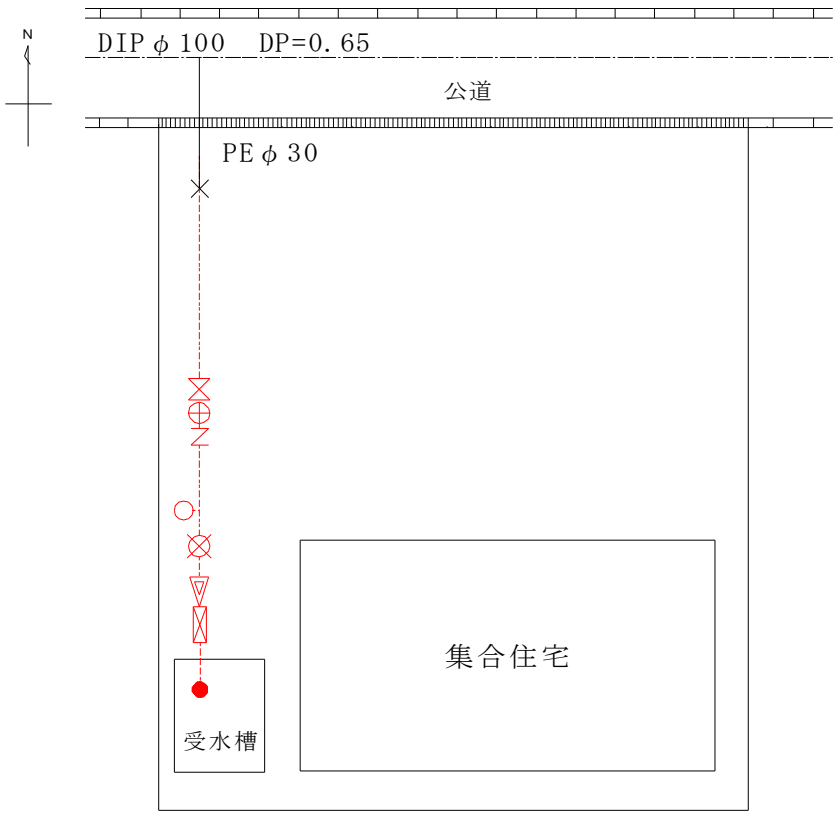
⑤ 貯水槽方式

種　　別	形　状	数　量	規　　格
(宅内)			
ガイドナット	30	1	○○○
VP	30	25	○○○
PVソケット	30	1	○○○
PE	30	0.5	○○○
PEメーター用	30	1	○○○
PE仕切弁	30	1	○○○
単式逆止弁	30	1	○○○
VP継手		1式	○○○
減圧弁	30	1	○○○
定水位弁	30	1	○○○
ストップバルブ	30	1	○○○
水せん類	13	1	○○○
エア抜き弁	20	1	○○○
ボールタップ	13	1	○○○
遊離残留塩素測定			
道 路 復 旧	舗装復旧の有無	有・無	
メーター	30	1	

給水台帳（ 新設 ・ その他 ）

受付番号	8桁	設置場所		浜松市○区○○町□□□
基本コード	○○○○	給水装置申込者	住所	□□□□□□
業者コード	○○○		氏名	△△△△△
指定業者	○○○○	使用者氏名又は建物名称		
主任技術者	○○○○	代理人・管理人	住所	
			氏名	

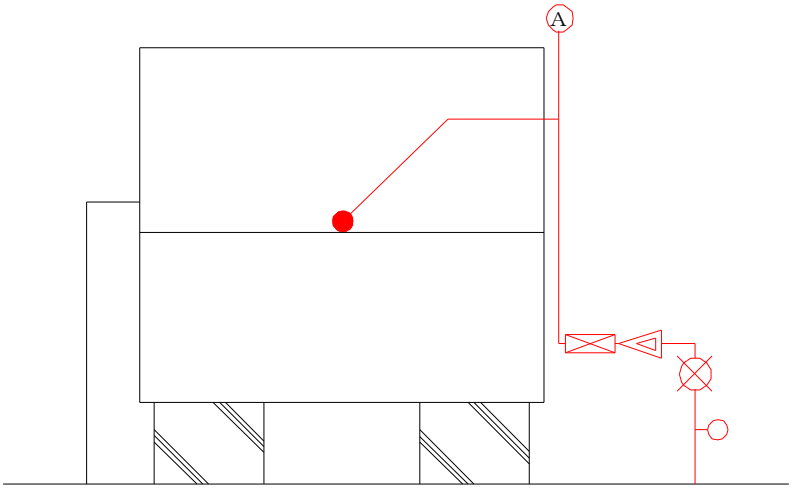
加入金納入済印		
	申込受付	令和　年　月　日
	着　手	令和　年　月　日
	完　成	令和　年　月　日
	検　査	令和　年　月　日
	浜松市上下水道部	



有効容量の計算式

有効容量〇〇㎥

吐水口空間＝〇〇cm



⑥ 集合住宅　直圧

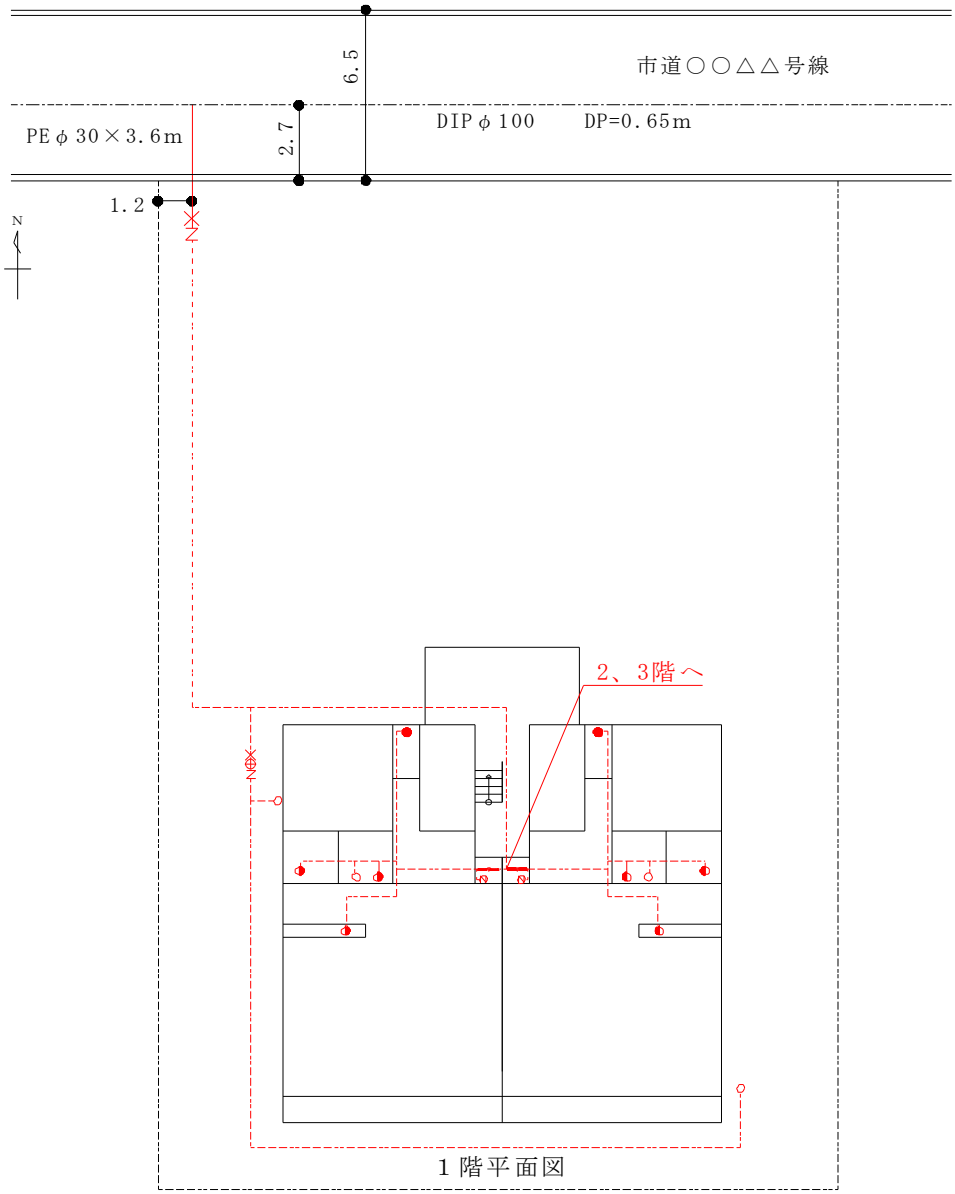
種　　別	形　状	数　量	規　　格
(道路)			
サドル付分水栓	100×30	1	○○○○
スリーブ	30	1	○○○○
ＰＥメーター用	30	2	○○○○
ＰＥエルボ	30	2	○○○○
ＰＥ	30	3.6	○○○○
一文字止水栓	30	1	○○○○
止水栓筺	SSV	1	○○○○
(宅内)			
単式逆止弁	30	1	○○○○
ガイドナット	30	1	○○○○
HIVP	30、25、20	1式	○○○○
ＨＩＶＰ継手類		1式	○○○○
メーターユニット	13	6	○○○○
フレキ管	13	1式	○○○○
エア抜き弁	20	1	○○○○
XPEP	13	1式	○○○○
ボールタップ	13	6	○○○○
水せん類	13	30	○○○○
逆止弁	15	6	○○○○
メーター止水栓	20×13	6	○○○○
PE	20	1	○○○○
PVソケット	20	1	○○○○
メーター筺	P20L（青）	1	○○○○
逆止弁付ガイドナット	13	1	○○○○
水せん類	13	2	○○○○
水せん柱	13	2	○○○○
遊離残留塩素測定		0.3ppm	○年△月□日
道 路 復 旧	舗装復旧の有無	(有)・無	下水同調
メーター	13	7	

給水台帳（ 新設 ・ その他 ）

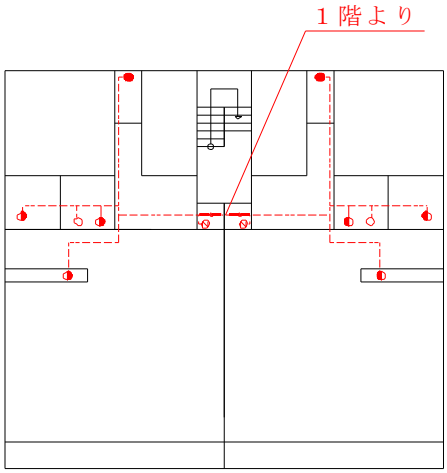
受付番号	８桁	設置場所		浜松市○区○○町□□□
基本コード	下表	給水装置申込者	住所	□□□□□□
業者コード	○○○		氏名	△△△△△
指定業者	○○○○	使用者氏名又は建物名称		
主任技術者	○○○○	代理人・管理人	住所	
			氏名	

加入金納入済印		
	申込受付	令和　　年　　月　　日
	着　手	令和　　年　　月　　日
	完　成	令和　　年　　月　　日
	検　査	令和　　年　　月　　日
	浜松市上下水道部	

部屋番号	基本コード
101	○○○○○○○○
102	○○○○○○○○
201	○○○○○○○○
202	○○○○○○○○
301	○○○○○○○○
302	○○○○○○○○
散水	○○○○○○○○



1階平面図



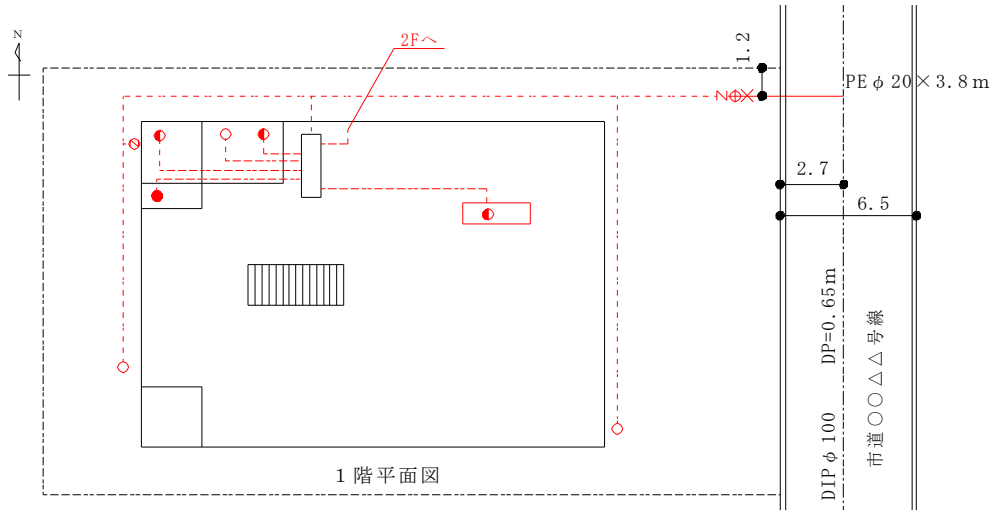
2、3平面図

⑦ 配水管分岐工事有り　一般住宅

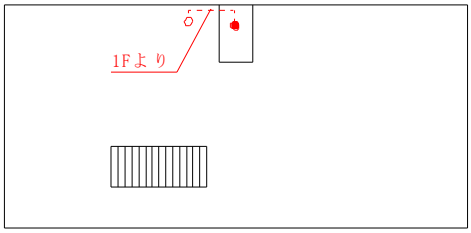
種　　別	形　状	数　量	規　　格
(道路)			
サドル付分水栓	100×20	1	○○○○
スリーブ	20	1	○○○○
ＰＥメーター用	20	2	○○○○
ＰＥエルボ	20	2	○○○○
ＰＥ	20	3.8	○○○○
メーター止水栓	20×13	1	○○○○
(宅内)			
メーターきょう	P20L（青）	1	○○○○
ガイドナット(逆止弁付)	13	1	○○○○
ＨＩＶＰ	16	1式	○○○○
HIVP継手		1式	○○○○
ヘッダー	6Ｐ	1	○○○○
ＸＰＥＰ	13・16	1式	○○○○
ＸＰＥＰ継手		1式	○○○○
逆止弁	15	1	○○○○
ボールタップ	13	2	○○○○
水せん類	13	7	○○○○
水せん柱	13	2	○○○○
遊離残留塩素測定		0.3ppm	○年○月○日分水日
道 路 復 旧	舗装復旧の有無	(有)・無	
メーター	13	1	

給水台帳（ 新設 ・ その他 ）				
受付番号	８桁	設置場所		浜松市○区○○町□□□
基本コード	○○○○	給水装置申込者	住所	□□□□□□
業者コード	○○○		氏名	△△△△△
指定業者	○○○○	使用者氏名又は建物名称		
主任技術者	○○○○	代理人・管理人	住所	
			氏名	

加入金納入済印		
	申込受付	令和　　年　　月　　日
	着　手	令和　　年　　月　　日
	完　成	令和　　年　　月　　日
	検　査	令和　　年　　月　　日
	浜松市上下水道部	



1 階平面図



2 階平面図

⑧ 配水管分岐工事なし　一般住宅

種　　別	形　状	数　量	規　　格
(宅内)			
伸縮ユニオン	20	1	○○○○
ガイドナット（逆止弁付）	20	1	○○○○
ＨＩＶＰ	20、16	1式	○○○○
ＨＩＶＰ継手類		1式	○○○○
ヘッダー	７Ｐ	1	○○○○
ＸＰＥＰ	13・16	1式	○○○○
ＸＰＥＰ継手		1式	○○○○
逆止弁	15	1	○○○○
ボールタップ	13	2	○○○○
水せん類	13	6	○○○○
水せん柱	13	1	○○○○
遊離残留塩素測定			
道 路 復 旧	舗装復旧の有無	有・無	
メーター	13 → 20	1	

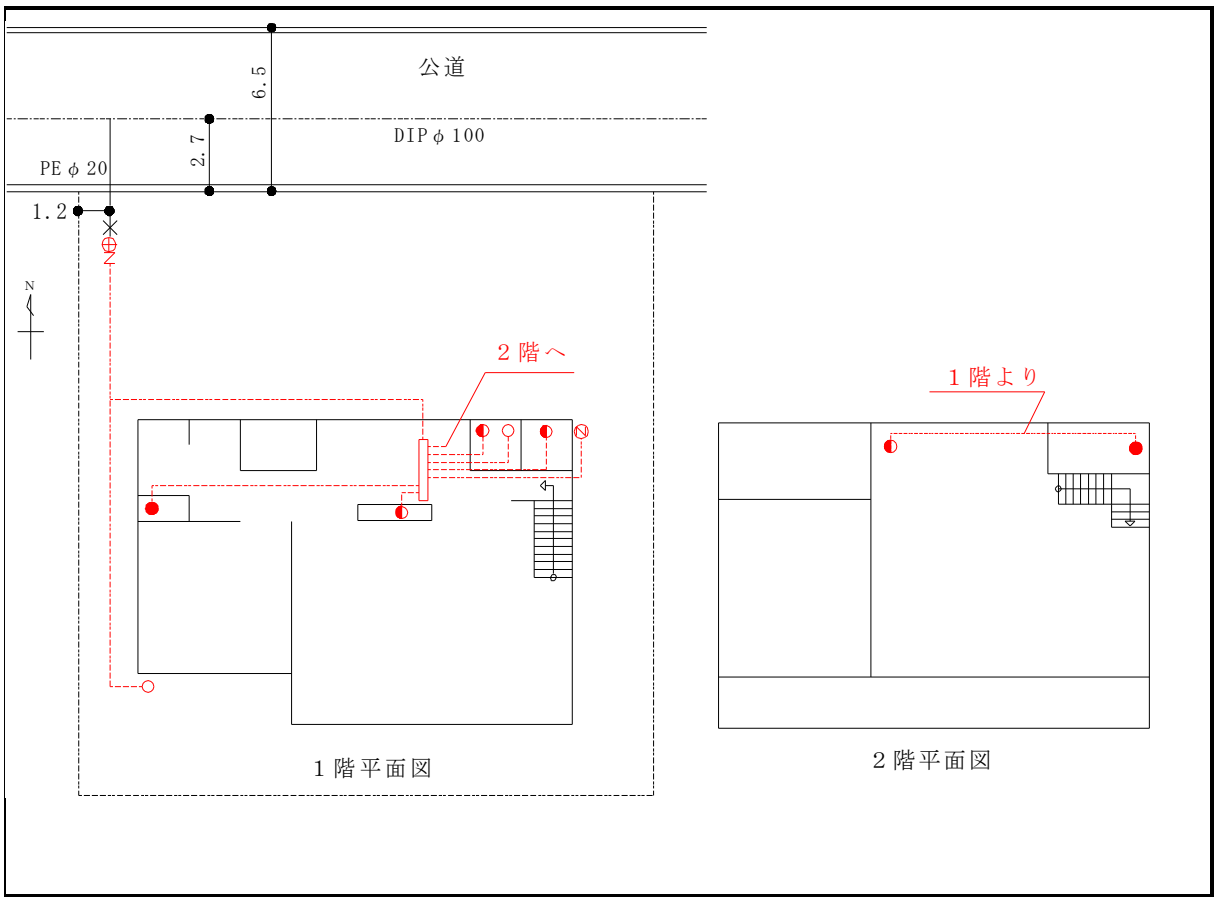
給水台帳（ 新設 ・ その他 ）

受付番号	８桁	設置場所		浜松市○区○○町□□□
基本コード	○○○○	給水装置申込者	住所	□□□□□□
業者コード	○○○		氏名	△△△△△
指定業者	○○○○	使用者氏名又は建物名称		
主任技術者	○○○○	代理人・管理人	住所	
			氏名	

加入金納入済印

申込受付	令和　　年　　月　　日
着　手	令和　　年　　月　　日
完　成	令和　　年　　月　　日
検　査	令和　　年　　月　　日

浜松市上下水道部



６．３　占用等の申請

（１）主任技術者は、施工内容に沿った申請（届出）を行うこと。

（２）申請内容等は、道路管理者及び河川管理者等の指示による。

（３）河川を添架する場合の施工方法等については、河川管理者等の指示による。

〈解説〉

道路掘削等を伴う工事は、道路管理者の掘削・占用許可及び所轄警察署長による道路使用許可の手続きを行うなど関係する法令を遵守して適正に施工する。